

1 経営理念

<input type="checkbox"/> 学校教育目標 確かな学力を持ち、夢や志に向けて能動的に活動する生徒の育成 <input type="checkbox"/> めざす学校像 ○信頼される学校 ①安心・安全な学校（自他ともに安心して、楽しく生活できる） ②確かな学力を身に付けさせる学校（学力の向上） ③夢をかなえる学校（自己の成長や良さが実感でき、夢と自信が育つ） ④美しい学校（環境、礼節、一生懸命が美しい） ⑤社会に貢献する学校（地域と連携して地域の活性化に貢献できる）
--

2 経営目標・評価指標・評価等

【評定 S：100%，A：100%未満～90%以上，B：90%未満～70%以上，C：70%未満～50%以上，D：50%未満～0%】

	中期経営目標	短期経営目標 (達成目標)	評価指標	評価	成果(○)・課題(▼)等	今後の取組・改善策
確かな学力	○基礎・基本の学力の確実な習得, 思考力・判断力・表現力の向上を図る。	○各種学力検査で、国または県の平均を上回る。	○本校が国や市の平均以上	C	【全国学力】 ○本年度、中止 【三次市到達度】 ○国や市の平均以上の生徒の割合は、51.8%であった。 ○正答率60%以上の生徒の割合は、56.6%であった。 ▼正答率30%未満の生徒が延べ5名いる。 ▼無解答が1年生で34問、2年生で42問あった。	・今年度は、新型コロナウイルス感染症による休校も多く、学力の定着が不十分であった。 ・全体的に家庭学習の習慣化が出来ていない。家庭と連携し家庭学習時間の確保に努める。 ・個に焦点化した学習活動を取り入れ、授業改善を行う。 ・基礎学力の定着を図るために、個に応じた課題を作成する。
		○各種検定及びコンクール等、応募の生徒割合を高める。	○生徒全員が英検、漢検、数検のいずれかを受検する。 ○外部主催の各種検定及びコンクール等で、生徒全員が一つ以上受賞する。	B	○英検、漢検、数検のいずれかを受検した生徒は、15/23であった。 ○今年度は、コロナの影響で募集、大会等が激減し、応募機会が減少したため受賞した生徒は、18人であった。	・全員がいずれかの検定を受けるように各教科で促し半数以上の生徒が受験したが、来年度は8割以上受験するように促す。 ・作品応募に対しては積極的に応募した。来年度も同様に取り組む。
		○基本的学習習慣を定着させる。 ・家庭学習習慣の定着 2時間以上家庭学習を行う。 ・読書習慣の定着 年間15冊以上本を読む。	○生徒全員が2時間以上家庭学習を行い、年間15冊以上本を読んでいる。	D	▼昨年は、家庭学習を3時間以上行っている生徒が4人いたが、今年度は1人になった。又、まったくしていない生徒が昨年は0人だったのが、4人に増加した。 ▼読書についても、3月時点で15冊を超えている生徒が昨年は9名いたが、今年度は6人だった。よく読む生徒と、読まない生徒が固定化している。 ○一番多い生徒は、3月時点で115冊読んでいる。(月平均9.6冊読んでいる)	・宿題未提出の固定化していた生徒が減少してきた。引き続き個別指導を継続し宿題提出率を100%にする。 ・自主学習ノートの提出率も上がっている。これまでと同様に、自主学習ノートを家庭学習の一環として積極的に取り組ませる。 ・家庭学習の必要性を理解させ、家庭学習の習慣づけを行う。 ・今年度もアウトメディアの取組を推進している。その取り組みとコラボして読書の取組を進める。
豊かな心	○礼儀や規範意識を身につけ、場に応じた行動のできる自律した生徒を育てる。	○当たり前だが、立派にできる生徒の育成を図る。 ・レベル5の挨拶ができる。 ・校則、時間、掃除、整理整頓等、ルールを守って生活できる。	○生徒全員が、式、朝会、授業、来客への対応等の場で、レベル5の挨拶ができている。 ○生徒全員が、校則と時間を守り、掃除や身の回りの整理整頓ができている。	A	【挨拶】 ○「地域の方に…、校内で…、来客に対して…」のレベル5の挨拶の項目は何れも肯定的評価が高い。 ○今年度は、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、全員の登校時、下校時の職員室への挨拶を中止したため、中間評価では、肯定的評価が低かった。しかし、後期は挨拶の指導を行うことにより4項目中、3項目が「A」評価となった。 【ルール】 ○昨年度は、「校則を守っている」の評価がB判定だったが今年度はA判定となった。又、「時間を守っている」の項目の肯定的評価が100%になった。 ○教職員が時間を意識して行動することで、生徒へ抑止力につながっている。 ▼全てA判定であったが、2項目とも100%の評価になるように取り組む必要がある。 【掃除】 ○昨年の評価はB判定であったが、今年度はA判定になった。また生徒の意識も高まり、肯定的評価が100%になった。 【身の周りの整頓】 ▼これまでも指導を行っているが、昨年と変わらないB評価であった。	【挨拶】 ・4項目中、3項目がA判定であったが、授業での挨拶がB判定であった。全項目でA判定になるよう、場面に応じた挨拶ができるように指導する。 【ルール】 ・今年度は、ルールや規則への意識も高まり、評価が全てA判定となった。来年度も同様に意識が低下しないように継続して取り組む。 【掃除】 ・これまでと同様に、掃除指導を徹底する。 【身の周りの整頓】 ・全体への意識付けはおこなっているが、この項目でも他と同様に、整理整頓ができない生徒が固定化している。日々継続して指導を行うことで習慣化させる。
	○自己肯定感を高め、思いやりの心をもった生徒を育てる。	○生徒全員が「自分には良いところがある」「周りから認められている」と感じている。	○生徒全員が、自分のことを肯定的に自己評価し、周りから認められていると感じている。	B	○「自分によいところがある」は、前年度の最終評価と同様であったが、「自分は周りから認められている」の項目が昨年度のC判定からB判定に向上した。 ▼肯定的評価は向上しているが、2項目とも肯定的評価が8割を超えるように取り組む。	・これまでも「ありがとうカード」等の取り組みを行ってきたが、あらゆる場面で自己肯定感が高められるように意図的に仕組んでいく必要がある。特に自己肯定感の低い生徒に対して活躍の場面を与え自信を持たせる取り組みを行う必要がある。
健やかな体	○基礎体力を向上させ、活力ある生徒を育てる。	○基本的な生活習慣が身についている。 ・朝ごはんの定着	○生徒全員が、朝食を食べている。 ○栄養士と連携した食育指導を年1回以上実施する。	A	○今年度は、栄養士による食指導は3年生しかできなかったが、生徒の食に対する意識は高く年間を通してA判定であった。 ▼2名の生徒が毎日ではないが朝食を食べていない実態がある。	・生徒の固定化が見られるため、保護者と連携し、全生徒の朝食が100%になるよう取り組む。 ・これまでと同様に、調理場栄養士からの食育指導の継続と保護者への啓発活動を行う。
		○部活や各種体力づくりを充実させる。	○部活や体力づくりに参加し、体力が向上したと感じている。	B	▼全体的には肯定的評価は高いが、前年度の最終評価に比べ、4.4ポイント下回った。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、部活動の制限や前期の大会等も見送られる中、生徒の向上心が低下したと考えられる。	・保健体育の授業とタイアップし、体力づくりへの興味関心を持たせると共に、体力向上に努める。
信頼される学校	○学んでよかったと思える学校をつくる。	○生徒が授業や学校生活に満足している。	○生徒全員が、「授業はわかる」「学校が楽しい」と肯定的に評価している。	C	○「授業はわかる」と「学校が楽しい」の項目のみ見ると肯定的評価が高く、2項目ともA判定になっている。 ▼2項目全てで肯定的評価の生徒を挙げると評価が低くC判定となった。	・教科によって満足していない生徒いるため、授業改善を図り、全ての生徒が肯定的評価になるよう取り組む。 ・中学校生活に対しても全ての生徒が満足できるように個人面談や相談活動を充実させ、個の課題を取り除く取り組みを行う。
		○保護者が本校教育に満足している。 ・安心と満足	○保護者全員が、「安心」して学校に通わせており、教育活動に「満足」していると肯定的に評価している。	A	○「安心して……通わせている」は、昨年と同様に95.7%と肯定的評価がとても高い。 ○「布野中学校に行かせて良かった」は、昨年度に比べて、肯定的評価が0.8%向上した。 ▼3項目とも肯定的評価が高いが、保護者の満足度が100%ではない。	・生徒の満足度と保護者満足度が比例しているため生徒の満足度の改善を図る。 ・今以上に通信やHP等の内容を工夫し、保護者に学校の状況が伝わるようにする。 ・保護者の要求に耳を傾け、コミュニケーションを図る。